



平成29年 2 月22日

小田原市水道事業

小田原市長 加藤 憲 一 様

小田原市水道料金等徴収業務事業者選定委員会
委員長 長 崎 義 則

小田原市水道料金等徴収業務事業者の選定について（答申）

平成28年11月22日付け水営第207号で、当委員会に対し諮問のあり
ました小田原市水道料金等徴収業務事業者の選定について、答申いたします。

答 申 書

平成 2 9 年 2 月 2 2 日

小田原市水道料金等徴収業務事業者選定委員会

1 経緯

小田原市水道料金等徴収業務事業者選定委員会(以下「委員会」という。)は、小田原市水道料金等徴収業務についてプロポーザルを行い、事業者から提出された提案書及びそれに基づくプレゼンテーションから、事業者の選定に係る審査を行った。

この度、審査が終了したので、ここに答申する。

2 選定結果

優先交渉権者	第一環境株式会社
総合得点	1,291点 / 1,500点

3事業者からプロポーザルへの参加申込があり、最終的に1事業者から提案書の提出があった。審査の結果、委員会の定めた要件を満たしていたため、当該事業者を優先交渉権者として選定した。

(特に評価した点)

優先交渉権者は、全国規模で事業を展開していることから、本市の営業所において急な欠員が発生した場合でも迅速に支援できる体制を構築しており、安定した業務遂行が可能である。さらに、水道料金の高い収納率、他事業者における電算システムを含む一括しての業務受託実績、災害時の本市への応援体制などについても高く評価できる。

また、インターネットを利用した受付システムや新型のハンディターミナルの導入によるお客様サービスの向上や業務の効率化、個人情報保護に重点を置いた新たな提案がされるとともに、見積金額が現在の委託契約の水準よりも安価となっており、本市水道事業への貢献が大いに期待されるものである。

3 選定方法

事業者の選定は公募型プロポーザルによるものとし、参加事業者のプレゼンテーション後、ヒアリングを行った。

次の視点に基づいて評価し、1事業者について委員一人当たり300点を満点として採点した。全委員の点数を合計した総合得点が満点の6割である900点以上であり、かつ最も高い事業者を優先交渉権者として選定した。

(評価の視点)

番号	内 容
	会社概要、財務状況（決算関係書類）、業務実績
	業務体制及び業務執行計画
	地域貢献
	窓口業務に関する企画・技術提案
	データ入力業務に関する企画・技術提案
	検針、調定、及び中止精算業務に関する企画・技術提案
	収納業務（滞納整理）及び口座振替推進業務に関する企画・技術提案
	電子計算機処理業務に関する企画・技術提案
	個人情報保護に関する企画・技術提案
	防災、災害及び緊急時対策等危機管理に関する企画・技術提案
	その他上下水道利用者サービス向上のための企画・技術提案
	収納率の実績
	見積金額

選定経過

実施日	内 容
平成 28 年 11 月 22 日	第 1 回委員会 ・ 諮問 ・ 水道料金等徴収業務の概要及び執行方法について ・ 事業者選定に係る手続きについて
12 月 7 日	プロポーザル参加募集の公表
12 月 7 日 ~ 12 月 21 日	プロポーザル参加申込書の提出期間
平成 29 年 1 月 10 日	プロポーザル参加資格確認結果通知書 プロポーザル参加要請書及び仕様書等の送付
1 月 10 日 ~ 1 月 20 日	提案書作成等に必要資料の閲覧期間 プロポーザル参加に関する質問書の受付期間
1 月 26 日	プロポーザル参加に関する質問書に対する回答
2 月 10 日	提案書及び見積書の提出
2 月 13 日	プレゼンテーション及びヒアリング参加要請書の送付
2 月 16 日	第 2 回委員会 ・ プレゼンテーション及びヒアリング ・ 答申書（案）について
2 月 22 日	答申

委員名簿

（敬称略）

氏 名	組織・役職名等
長崎 義則	小田原市水道局長
鶴田 洋久	小田原市下水道部長
佐藤 福男	公益社団法人 日本水道協会 調査部主任調査役
川辺 武友	川辺会計事務所 税理士・社会保険労務士
齋藤 和三	公募市民

委員長、 副委員長